



# もみじ

明るく のびのび 遊ぶ子ども

令和4年 5月 31日

園だより No.3

新潟市立新津第一幼稚園

## 青梗菜(チンゲンサイ)の花と、ソラマメ

園長 間嶋 哲

植物から学ぶことは、とてもたくさんあります。

当園への送り迎えの際に気付いておられた保護者の皆さんもいたと思いますが、昨年度の修了式の少し前から、一幼の花壇の外側には、チンゲンサイが植えてありました。小学校の用務員さんから苗をいただいたので、植えたようです。さて、それをどうするのかなと思っていました。昨年度の修了生に一株ずつ持ち帰らせることも考えましたが、まだ十分に大きくなっていなかったもので、実現できませんでした。4月に入ると、ちょうど食べ頃になりましたが、そのままでした。

そのうち、どんどん生長し、なんと花が咲きました。それまでの私にとってチンゲンサイは「美味しい野菜」であって「鑑賞する植物」ではなかったのです。本来だと美味しい頃に摘まれてしまう野菜も、そのままにしておくとなかなか花が咲き、観賞用として、その役割を十分果たすことを知りました。



今現在は…、思わぬところから新しい花が咲き始めています。植物の生命力を感じます。

ところで、先日、年長組の子どもたちから、ある質問をされました。

「これって、枝豆ですか？」と。手にしていたのは、園で収穫したソラマメ。大人であれば、大きさもかなり違うので、枝豆との違いは明らかですが、同じ「マメ科」なので、確かに形が似ています。



「さあて、どうだろうか。枝豆は、夏から秋にとれるので、違うかもねえ。」

少し勿体ぶった言い方を、あえてしてしまいました。答えをズバリ言うことが最善ではないと思っているからです。しばらく困っていた様子の子どもたちも、そのうち、ソラマメが主人公である絵本の存在に気付き始めるのです。『そらまめくんのベッド』です。園に戻って、その絵本を眺めると、目の前のマメとそっくり。そうやって、子どもたちは確かな知識を身に付けていくのです。ちなみに次の日には、子どもも私も、そのソラマメを美味しくいただきました。

昨日みんなで出掛けたスポーツ公園での散歩の時、もみじ組の子どもたちは、落ち葉や樹液などに興味津々でした。詳しく話を聞かせてくれる子どももいました。身近なことを不思議に感じ、聞いたり調べたりする態度そのものを、とても頼もしく感じたひとときでした。



